

**2023年3月期 第2四半期  
決算発表 質疑応答**

(受注について)

**Q 1. 受注単価が増加(前年同期比+1,078万円)していますが、理由を教えてください。  
(決算説明会資料 p18)**

A 1. 今年の1月、7月に実施した価格改定と、単価の高いZEH商品の販売比率が上昇していることなどによるものです。

**Q 2. 価格改定によって、他社との競合時に失注してしまうなど受注獲得に影響はありますか。  
(決算説明会資料 p18)**

A 2. 資材や原材料の高騰分を価格に反映させておりますが、他社においても同水準の価格改定を実施していると認識しており、受注獲得には問題ないと考えております。

(完成工事高・完成工事総利益について)

**Q 3. 今期の完成工事総利益率の見通しを教えてください。**

A 3. 期初計画に対し大きな変動はなく、計画通り21.1%前後の着地を見込んでおります。

**Q 4. 来期の完成工事総利益率の見通しを教えてください。**

A 4. 来期の完成工事総利益率については販売価格の改定が寄与する一方、日本国内のその他工事原価が高騰傾向にあることから、今期より3p~5pほどの回復を見込んでおります。

**Q 5. 来期の完成工事高の見通しを教えてください。**

A 5. 今期5,200億円の新規契約獲得により、来期5,200億円ほどの完成工事高確保が可能と考えております。引き続き契約の促進と来期の完成工事高確保に注力してまいります。

**Q 6. 今年度内の販売価格改定の可能性について教えてください。**

A 6. 更なる販売価格改定については現状検討しておりません。

Q7. 今後目標となる完成工事利益率の水準を教えてください

A7. 資材、為替の影響がなかった2020年3月期並みの28%程度を当面の目標としつつ、まずは早期に26%程度に回復させていきたいと考えております。

Q8. 木材価格の動向について教えてください。

A8. 現地で価格交渉を行ったこともあり、ピーク時より4割ほど価格を下げる事が出来ています。

(不動産事業について)

Q9. 入居率の今後の見通しについて教えてください。

A9. 賃貸住宅の供給増加や新型コロナウイルスの沈静化により、退去が増加する可能性はあるものの、入居率が急激に悪化することはないと思います。

Q10. 家賃価格の動向について教えてください。

A10. 入居率が過去最高水準であること、需要が旺盛なことから、家賃をやや強めに設定できる状況もありますので、各エリアの需要・相場を踏まえ、家賃設定を行っています。

(その他)

Q11. 来期の利益計画は1,300億円の過去最高益更新を計画されていますが、見通しについて教えてください。

(決算説明会資料 p28)

A11. 販売価格改定による利益率改善と建築受注5,200億円の達成、および入居率の維持に努めることで、来期計画の営業利益1,300億円の達成確度を上げてまいります。

Q12. 成長投資と株主還元の見え方について教えてください。

A12. 引き続き、コア事業強化のための成長投資を検討しておりますが、来年度において成長投資の資金使途に目途が付き、余資があれば自社株買いを含めた株主還元についても検討し、お知らせしたいと考えております。

以上